

2025年3月16日（主日礼拝）

■招詞 ヨエル書 2:12-13a 「今こそ、心からわたしに立ち帰れ／断食し、泣き悲しんで。
衣を裂くのではなく／お前たちの心を引き裂け」

■礼拝の祈り

天におられる、主イエス・キリストの父、わたしたちの父よ、

<礼拝の招きへの感謝>

今日も、礼拝のために教会に集うことができました。あなたが体の健康をお支えくださったからです。そしてまた、教会へと礼拝へと向かう思いを心に注いでくださったからです。またここに来られない者にはそれぞれの場所で祈ろうと心を整えてくださいました。あなたは、ご自分の招きにわたしたちがお応えできるようにと、すべてを整えてくださいました。このことだけでもあなたの業の大きさを思われます。一週間ぶり、あるいは久しぶりの友、心にかけていた友の顔をみることができて安心し、喜んでいます。自宅で祈っているであろう友のことを心に思い浮かべます。自分自身もまた歓迎され、祈られていることを知ります。そうして、今この時、その顔を、主よ、あなたの方に向け、心と体をあなたに捧げようと礼拝に臨んでいます。ひとりひとり、さまざまな状況にあり、さまざまな思いを持ってここに集っています。しかし、どうか、あなたがそれらをすべて包み込んでこの礼拝の時を恵みの時、祝福の時としてください。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

しかしあなたのこの礼拝の御業の前に自らを省みる時、あなたが祝福をくださろうとすることをこばみ、恵みを受け入れようとしなかったことを思います。神などいなくても自分の力で生きていけるとうそぶきました。もしそのままのままでいたならば私は確実に減っていたでしょう。けれども、あなたはわたしたちが減ぶことを望まれました。憐れんでくださり、恵みによってみもとに招いてくださいました。この礼拝に招いてくださったことからだけでもそのことが分かります。礼拝をささげることはあなたがくださる恵みであることを心確かに感謝の中で礼拝をささげます。

今日は顔が見えなかった者のことを思わざるを得ません。病、老い、世での働き、さまざまな事情があるでしょう。しかし、あなたは決して招きを止めておしまいにならないことをわたしたちは信じます。もし、信仰の弱さ、試練の中にあるものがおりましたら、あなたが顧みてくださいますように。わたしたちは弱く小さいのです。体の健康も心の健やかさも信仰の確かさもすべてあなたによって与えられることにより頼むしかありません。今日は来ることができなかつた者も、在宅での礼拝をしている者も、あなたの祝福の中においでください。今日の礼拝に集うわたしたちが、そのような者たちともひとつにされていることを信じて礼拝をささげることができるよう。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

どうか、この礼拝で、わたしたちが本当にあなたによって生かされていることを教えてください。そのために御言葉をください。あなたが語ってくださる命のみことばによって、わたしたちにもう一度息を吹き入れ、命を与えてください。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

2025年3月16日（主日礼拝）

■教会の祈り

<礼拝感謝>

受難節、レントの時を歩んでいます。主の十字架を特に思い起こし、十字架の元にひざまずき、くずおれて祈るようにと導かれています。今日も主イエスの十字架のみ言葉を聞きました。どうか、この十字架の主イエスがまことの自分の救い主であると受け入れる信仰をお与えください。自分で勝手におもいえがく神らしきものや、自分の頼りにならない立派さではなく、主イエスの十字架による赦しにこそ、わたしたちが生かされるほんとうの命があることをもういちど教えてください。その命にあなたは招いてくださいました。十字架なしに、あなたがあたえてくださったこの命を知り、命に与ることはできません。あなたからのこの恵みを感謝し、本当の喜びに生かしてください。そのために礼拝と祈りをますます豊かに深めてください。

<困難な状況の中にある人を助けてください>

心や体に病を負っているものをどうか助けてください。生活に困難がある者にあなたが御顔を向けてくださいますように。自分ではどうしようもできないことがたくさんあります。しかし、あなたがすべてを知ってくださり、憐れんでくださることに希望をおきます。助けてください。

そのような隣人を知るわたしたちは、ともに歩み、祈り、支えることができますよう、主に従う者としてください。

<祈りもまた恵みです>

送り出されて祈りの生活をいたします。祈ることができることもあなたからの恵みです。生活に祈りを与えてくださってありがとうございます。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。